

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	ハッピーテラスキッズ葛飾金町ルーム		
○保護者評価実施期間	2025年 5月 1日 ～ 2025年 6月 30日		
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	40	(回答者数) 38
○従業者評価実施期間	2025年 6月 1日 ～ 2025年 6月 30日		
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5	(回答者数) 5
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 7月 22日		

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的にやっている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	指導員とマンツーマンで行う個別療育を提供している。	ご家族からの要望に応じて、療育内容をカスタマイズして取り組んでいる。また、お子さまの担当指導員を、基本的に一人に固定している。担当制にすることで、一貫した療育を提供できる他、お子さまとの信頼関係を築きやすく、ご家族も相談しやすくなるような体制を整えている。	外部研修の受講や事業所間連携、事業所内での知識の共有を継続的にを行い、サービス質の向上を図っていく。
2	個別と小集団の2つのコースを設けているため、お子さまの状況やご家族の要望に応じて、個別療育と小集団療育を適宜組み合わせて支援が行うことができる。	ご家族の要望に応じて個別療育、小集団療育利用の案内をしている。また、療育での様子を見て、適宜個別療育、小集団療育利用の案内もしている。	外部研修の受講や事業所間連携、事業所内での知識の共有を継続的にを行い、サービス質の向上を図っていく。
3	全国展開をしているため、知識と経験が豊富。 ケース検討の数が多い。	毎週指導員間で話し合う時間を設け、ケース検討や運営改善に役立っている。専属アドバイザーとして、臨床心理士・公認心理師との協力体制を整えている。	事業所間での連携を強化し、多角的な相互支援を行う。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	個別療育を提供しているが、完全個室ではない。	OAパーテーションを使用しているため、同時に個別療育を行う際、隣室の声や音が聞こえてしまう。また、指導員はパーテーション転倒の可能性を視野に入れながら、療育に携わっている。	転倒するリスクが少ないパーテーションの導入や、レイアウトの見直し。
2	事業所が、利用児童の送迎を行っていない。	保護者が送迎をできなければ、事業所の利用ができない。児童本人が健康であっても、送迎者が体調不良になると、送迎できなくなり、その結果利用ができなくなってしまう。	送迎を行っていない点を理解いただいた上で、より多くの皆さまにご利用いただけるよう、外部研修の受講や事業所間連携、事業所内での知識の共有を継続的にを行い、サービス質の向上を図っていく。
3	1回あたりのサービス提供時間が短い。	保護者へのフィードバック、身支度の時間を含め、1時間のため、実質療育を行う時間は35～45分程度になってしまう。	提供時間が短い点を理解いただいた上で、より多くの皆さまにご利用いただけるよう、外部研修の受講や事業所間連携、事業所内での知識の共有を継続的にを行い、サービス質の向上を図っていく。